

5 環境管理の推進

1 環境マネジメントシステム(EMS)の 的確な運用

ISO14001に基づくEMSをすべての事業所で構築・運用し、環境負荷の継続的な低減に努めています。

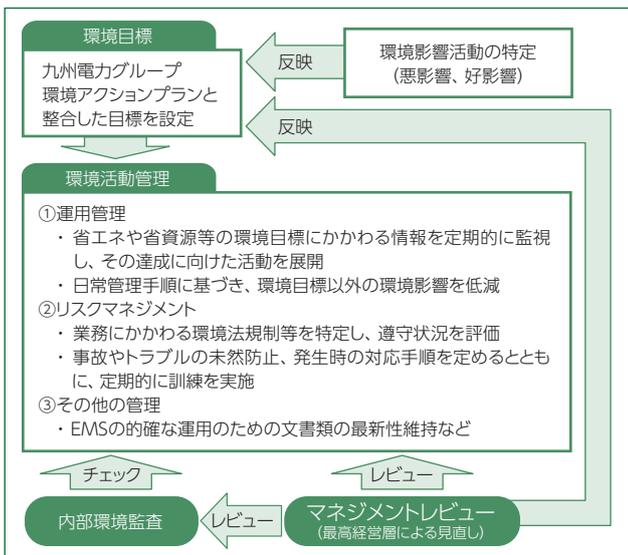
(1) EMSの活用

当社は、機能や環境影響が異なる事業形態ごとに選定した5つのモデル事業所^{*}(2012年7月末現在)でISO14001の認証を取得し、これに準拠したシステムをすべての事業所で構築・運用しています。

事業所では、環境アクションプランに基づき、省エネや省資源などの目標を掲げ、その達成に向け取り組むとともに、環境関係の法令遵守評価や緊急事態を想定した訓練の実施など、環境リスクの管理にも努めています。

^{*}: 建設所モデルである小丸川発電所建設所が、発電所の運用開始(2011年7月)に伴い、認証登録範囲である「水力発電所建設に伴う工事管理活動」を完了したため認証を返上(返上後は支社モデルの準拠システムにより運用)。

EMSの概要



EMSのモデル事業所と準拠システム構築事業所 (2012年7月末現在)

事業形態	モデル事業所 【5事業所】 認証取得年月	ISO14001の 要求事項に準拠したシステムを 全社に展開	準拠システム 構築事業所数 【104事業所】	構築箇所
火力・ 地熱・ 内燃力 発電所	松浦発電所 1997年7月	→	18	火力発電所: 8 地熱発電所: 1 内燃力発電所: 9
原子力 発電所	川内 原子力発電所 1999年3月	→	1	原子力発電所: 1
電力所	人吉電力所 2001年3月	→	17	電力センター: 8 電力所: 9
営業所	佐賀営業所 2002年6月	→	53	営業所: 53
支社	長崎支社 2002年7月	→	15	本店: 1 支社: 8 工事機関他: 6

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > ISO14001の認証に関する外部審査状況

(2) EMS運用レベルの向上

事業所の運用支援や専門研修などにより、運用レベルの継続的な向上を図っています。



内部環境監査員養成研修

また、2012年4月からは、環境管理責任者、内部環境監査員、事業所EMS事務局など、それぞれに必要なスキルを効率的・効果的に習得可能なeラーニングを導入しました。

事業所へのEMS運用支援実績 (2011年度)

支援項目	事業所数
EMS事務局支援	9
環境意識高揚支援	2
内部環境監査組織支援	1

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 事業所へのEMS運用支援

EMS研修実績 (2011年度)

単位: 人

研修項目	受講者数
EMS専門研修	104
内部環境監査員養成研修	130

(3) EMS内部環境監査の実施

すべての事業所で、EMSのシステムの的確性、運用状況、法令の遵守状況を確認する内部環境監査を実施しています。

ここでの指摘事項については、是正処置を実施し、システムの継続的改善を図っています。

2 環境に関する法規制遵守の状況

2011年度に、主要な環境関連の法令等に基づく改善勧告・命令や罰則の適用を受けた事例はありません。

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 全社的な環境法令管理の仕組み構築

環境に関連した訴訟については、2010年10月6日に、川内原子力発電所3号機の増設計画に係る環境影響評価手続きのやりなおし等を求めて提訴されています。

当社としましては、環境影響評価法及び電気事業法にのっとり、適正に諸手続きを履践しており、原告の請求には応じられないため、これに应诉しています。

今後とも、訴訟において、当社の主張を十分に尽くしていくこととしています。

用語集を
ご覧ください

- 環境マネジメントシステム (EMS)
- ISO14001
- 環境リスク
- ISO (14001) 準拠 (システム)
- リスクマネジメント
- 内部環境監査 (員)
- 環境管理責任者
- 環境影響評価 (環境アセスメント)
- 環境影響評価法